

生ごみ堆肥の使い方

生ごみ堆肥は、さまざまな微生物を含む木片チップを活用し、和気町民の皆様が分別した生ごみを発酵・分解して、できた堆肥です。

I. 作物が植付けされてない場合

- ① 1kg/m²を目安に、生ごみ堆肥を土壌全体に散布し、よく耕す。
- ② 1ヵ月後に植え付けや播種を行う。

II. すでに作物が植付けされている場合

- ① 作物を定植した後、生ごみ堆肥100g/m²を目安に、土表面に施す。
- ② 表層の土と生ごみ堆肥を軽く馴染ませる。

☆失敗しない堆肥の施し方

堆肥を土に混ぜ込むと分解が始まるため、約1か月間は根に悪影響を及ぼす恐れがあります。このため、植付けの1か月以上前に施用しましょう。時間がない場合は下図のように、畝間や畝肩に堆肥を入れたり、マルチングシートを敷いて土表面を覆いましょう。

＜すぐに植付けをする場合の土づくりの一例＞

